



ふるさとを再確認

次は芋煮会へ



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

今年の夏は毎日うるような暑さが続きました。天気予報で今日は33度という報道を聞いてホットするのもおかしなものです。国連の事務総長が今地球は「温暖化」から「沸騰化」していると発言しましたが、二酸化炭素がかかわっていることは専門家の一致するところですが、どこまで削減できるか、国際会議も開催されていますが、各国の思惑もあり、なかなか世界が一枚岩になれないようです。日々の暮らしの中でさやかに貢献できることを単純に考えるのと車の使用をできるだけ控え、健康のために歩くことですが、車社会に慣れた中で難しいところです。

八月一日、川西夏祭りに5名で

参加してきました。昨年は未曾有の災害で中止となりましたが、今年はコロナ前を上回る人出があり、獅子舞やステージ上での各種イベント、夜空を彩る花火等により、故郷の良さを再認識することができました。

今月二日は黒べこ祭りに26名で参加し、おいしい米沢牛のすき焼きと地酒を堪能してきました。いよいよ来月は芋煮会です。4年ぶりの開

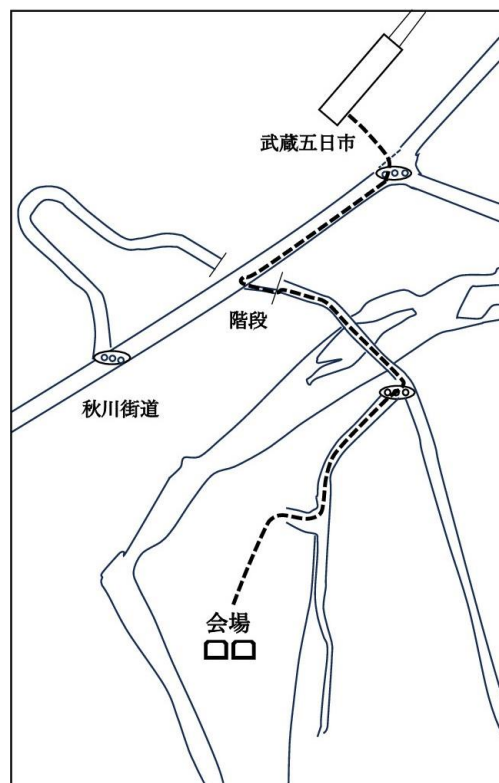
第三十二回いも煮会へのご案内

謹啓 会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、「東京川西会」最大行事である「いも煮会」を左記の要領で開催致します。令和元年の計画が水害で中止されて以来ですので、会員の方はもちろん、友人、知人をお誘いいただき、故郷の味を満喫して下さい。

記

- ◆ 期 日 令和五年十月二十二日(日) 午前十時より受付(小雨決行)
 - ◆ 会 場 秋川橋河川敷公園(あきる野市留原)
JR五日市線 武蔵五日市駅下車 徒歩5分
 - ◆ 会 費 会員・同居家族三千五百円 非会員四千円 中高生三千円 小学生五百円(以上、ビール、ジュース等の飲み物券セット)
幼児無料
- ◇ 郷土物産品の紹介幹旋、お楽しみ抽選券を準備します。
参加の有無は同封のハガキにて十月六日必着でお願い致します。
尚 雨等による決行の有無の問い合わせ 090・4952・3397 鈴木

アルカディアの里「東京川西会」会長 森田 光雄



催となりますが、秋の河原で皆さんと思いきり楽しみたいと思いますので、是非知人も誘っていただき、多くの皆様方の参加をお待ちしています。

今、マイナンバーカードの問題点について連日報道されています。特に保険証と一体化した『マイナ保険証』については、誤って他人の情報が入力されるなどカードに対する信頼性が失われ、国民が相当の不安を持っています。

私もカードを所有し、税金の申告、先日はコンビニで印鑑証明を取りました。確かに利便性も実感しているので、何とか進めてもらいたい気持ちと、何事もデジタル化に向けた期限ありきの一方的すぎる仕組みの変更に戸惑いを持つ人の気持ちもわかります。政治の世界ですから、賛否両論があるのは当然として、出来るだけ国民目線に沿った対応をお願いしたいものです。

あたりまえの有難さ



川西町長

原田 俊二

(中郡)

「暑い、暑い」と言っていた今年の夏も、季節は巡り朝晩は秋の風を感じるようになりました。川西は例年盆が過ぎれば涼しくなっていました。今年も8月後半も猛暑日が続き異常な年となりました。ダリヤ園のダリヤも暑さで縮んでしまいました。会員の皆さんも猛暑が続きました。物価高騰など大変辛い思いをされているのではないかと心配しております。9月も暑い日が続くようですので健康には十分ご自愛ください。

5月の川西会総会では久しぶりの再会に戸惑うのではないかと心配しましたが、準備に汗を流しておられる役員の皆様のお顔を拝見し一気にコロナ前の雰囲気よみがえりました。ふるさと川西をゆかりに組織された川西会は、無形の絆、人情で成り立っています。それを支えるのが直接顔を合わせる交流の機会です。それが長い間叶わなかったのですから「もったいない時間を過ごしたな」と悔しい思いをしていました。役員の皆さんが一生懸命に会を盛り立て

ようと奮闘する姿に胸を熱くしながら、「感謝」の気持ちいっぱい帰途につきました。

8月山の日の祝日、4年ぶりに「かわにし夏まつり」を開催しました。新型コロナウイルス感染症、昨年は豪雨災害と中止が続きました。この間に新庁舎が完成、初めて役場前の駐車場をメイン会場にステージや飲食ブース、様々な出店、花火の観覧エリアなどを配置しました。8月に入り台風の影響や猛暑が心配されましたが、当日は最高の祭り日和に恵まれました。お盆も重なり町内外から大勢の人が来場、過去最高の約一万人の人数でにぎわいました。小学生から大人まで様々なステージ発表、西大塚八幡神社獅子舞、諏訪神社商宮律(しやぎり)、小松豊年獅子踊が披露された後に、花火が盛大に打ち上げられました。目の前の田んぼから次々に打ち上がる花火は臨場感にあふれ大好評でした。花火へのご協力ありがとうございました。森田会長や役員の皆さんに盛り上げていただきました。9月2日これまた4年ぶりに「地酒と黒べこまつり」を開催しました。川西会の皆さんにも多数参加いただきありがとうございます。自慢の「川西生まれ川西育ち」の最高級の米沢牛を提供、きれいな霜降りのおいしいお肉と地酒を十分堪能いただ

いたものと思います。農家も酒屋も厳しい状況が続いていますので、引き続き応援よろしく願います。

コロナウイルスはこれからも感染拡大と終息を繰り返して、私たちはウイルスと共存しながら社会生活を送ることになります。油断はできませんが、社会経済活動を再生していかねばなりません。川西会の活動も感染を持ち込まない、広げないことに注意しながらあたりまえの活動に戻っていくものと思います。頑張っている皆さんに励まされながら私たちふるさと川西町も頑張ります。

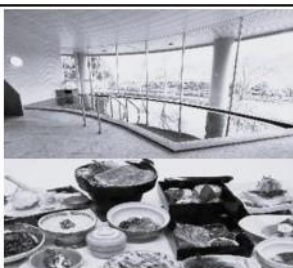
ふる里紹介

松はかわらぬ大川の

大川地区交流センター長

川崎 忠志

記録的な暑さが続いていますが、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか？かたや日本各地では線状降水帯やゲリラ豪雨による浸水・洪水・土砂崩れ等、心痛む災害が後を絶たない異常気象の発生が多発している昨今であります。当地区に於いても、ここ四年の間に黒川・高豆蔻地区を中心に二回の浸水被害がありました。



四季折々のおもてなし
川西町浴浴センター まどか 川西ダリヤパークゴルフ場

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松5095番地36
TEL (0238) 42-4126 FAX (0238) 42-4100

4コース 36ホール

<http://www.k-madoka.co.jp/>

申し遅れましたが、今年度より大川地区交流センター長を拝命致しました、下小松五番自治会の川崎と申します。宜しくお願い致します。

昨年度までの三年間は、新型コロナウイルスの影響で計画した行事の中止や規模縮小を余儀なくされて来ました。そこで昨年度の雪まつりでは、地区民が元氣を出せる様にと中野前センター長の号令の下、初の冬の打ち上げ花火を挙行し、大いに賑わい楽しむことが出来ました。未だにコロナは終息を見ない状況ではありますが、5類に移行し共存の道を歩み始めた思いをしております。今年度からは、コロナ禍以前の行事を再開しながら地区民の親睦・融和が広がればと考えて居ります。

全国的に叫ばれています人口減少は、川西町のみならず、当地区も例外ではなく10年前と比べて、戸数が407戸から371戸に。大川小学校児童数が80名から60名となっており。が、表題に記させて頂いた大川学校校歌(2番からの抜粋)のように、ここに根を張って生活している人々は、変わらずに仲良く生活していったほしいものと願っております。東京川西会会員の皆様も、健やかなる生活を営まれます様お祈り申し上げます。又、ふるさと川西に想いを馳せ、こちらにお越し

の際は気軽にセンターに足を運んで頂ければ幸いです。

吉島地区の近況

吉島地区交流センター長

松田 良弘

立秋を迎えたというのに、日本中猛暑続きで厳しい毎日を過ごしています。このような状況であっても地区の田んぼの稲穂は青々としていて、秋の収穫期を間近にすくすく生育しております。

ここ吉島地区交流センターの状況をお知らせします。今、吉島地区の人口は(R5・3末現在)2,168人、世帯数715、高齢化率41.1%となっております。他地区と同様ご多分に漏れず、人口減少、高齢化には歯止めがかけられない状況となっております。2004年、吉島地区では自治会の皆様とともに3年の時間をかけて話し合い、地区全体の合意形成をまとめていくという思いと地域の永続と財源の確保などを鑑み社会に認められたNPO法人化を目指しました。2007年吉島地区社会教育振興会を解散し、同年4月、全世帯加入の「NPO法人きらりよししまネットワーク」を設立しました。この経緯や歴史は「きらりよし

しまネットワーク」HPにストーリーとして掲載しています。当該NPO法人が町からの指定管理をうけて吉島地区交流センターを運営しています。一年間の活動事業数は50を超え、自治部会、環境衛生部会、福祉部会、教育部会と4部会組織に分かれており、部会マネージャーを中心に自治会から選出された非常勤事務局、きらり職員、理事が丸ごと開いております。

その中で、全部会共通事業として、スポーツ祭(2019年度までふれあい運動会)においては、自治会の皆様方とともに、ニュースポーツで思いっきり身体を動かし運動の爽快感を味わっていただいています。また、吉島ふれあい祭(収穫感謝祭)には地区住民、町外住民合わせて400名の参加でおいににぎわってもらっています。ふるまい餅、アトラクション、野菜・米の品評会、趣味の展示、抽選会など、地区のうまいもの、モノづくりなどが一気に展示される楽しみの事業であります。吉島地区第4次地区計画(令和4年度(令和8年度)の基本目標「誰一人取り残さない わがこと、まるごと持続可能な地域づくり」を掲げ、豊かで生きがいがある地域を目指しています。吉島地区においでの際

おきたま うまっ!

山形おきたまの「うまっ」をお届けします!

米沢牛

地理的表示 (GI) 保護制度登録

登録商標 第1457084号

お米

つや姫

ラ・フランス

シャインマスカット

「おきたま ふるさと」で検索!

<https://furusato-okitama.jp/>

JA山形おきたま

〒992-0472 山形県南陽市宮内864

TEL.0238-47-7033/FAX.0238-47-7801

にはお立ち寄りください。



末筆になりますが、東京川西会
員皆様のご活躍とご健勝をご祈念申
上げます。

川西町の最新情報

▼夏まつりを4年ぶりに開催！

令和5年8月11日に、「輝き再び
よみがえる ふるさとの夏」をテー
マに、川西夏まつりが4年ぶりに開
催されました。当日は、天候にも恵
まれ、約1万人の方にお越しいただ
きました。町内の団体が出店したか
わにしマルシェには、多くの方が列
を作り、川西の美味しいものを堪能
していました。また、14団体24
8名の皆さんにステージイベントを
盛り上げていただきました。



まつりの最後には、約2500発
の花火が夜空を彩りました。動画配
信アプリ『ロコテレ』をダウンロード
(無料) いただくと、当日の花火
がアーカイブで数か月ご覧いただけ
ますので、ぜひご利用ください。

この度のまつりにご来場いただい
た会員の皆様、花火をお買い上げい
ただきました会員の皆様に心より感
謝申し上げます。皆様にとって、ふ
るさと川西が記憶に残るまつりとな
っていれば幸いです。

『ロコテレ』のダウンロードはこ
ちらからお進みください。



○お問合せ…町まちづくり課
0238(42) 6613

▼初開催！「山形かわにしの暮らし 展」

11月3日と4日の2日間、町田
薬師池公園四季彩の杜西園を会場に、
山形かわにしの暮らし展が初めて開
催されます。当日は、パネル展示や
芋煮の販売など、ご来場いただく
方々に、本町の暮らしや食文化につ
いてご紹介しながら交流し本町に興
味を持つていただくとともに、交流
都市である町田市との交流を大切
に、未来に向けよりよい関係を築い
ていくことができるような催しにし
たいと考えております。皆様のご来
場、心よりお待ちしております。
○お問合せ…やまがた里の暮らし推
進機構
0238(54) 3006

▼「ふるさと北区 区民まつり」に 川西町から出店します！

これまで東京都北区でのイベント
出店を機に、北区の皆様と交流を深

めてきました。新型コロナウイルス
感染症の影響により中止となってい
た区民まつりですが、10月7日と
8日の2日間の日程で、赤羽公園を
会場に4年ぶりに開催されます。本
町からは厳選された特産品を皆様に
提供したいと考えております。皆様、
ぜひお越しください。

○お問合せ…町まちづくり課
0238(42) 6613

第三十七回定期総会に出席して



新理事
竹田 英也
(流山市在住・小松)

去る五月二十一日、四ツ谷の主婦
会館にて四年ぶりに総会が開催され
ました。会場は多くの会員で久しぶ
りに活気を感じました。

開会の前に、この4年間に亡くな
られた会員の方々のために黙とうが
行われました。

第一部の総会が始まり、森田会長
が4年ぶりに総会が開催でき何より
良かったと挨拶されました。

次にご来賓の川西町長、川西町議
会議長・副議長、商工会、観光協会、
南陽会、東京飯豊会、ふるさと長井
会の方々が紹介されました。

ご来賓の挨拶で原田町長は、「4年振りに皆さんに会えてたいへん嬉しい。町では昨年八月三日の豪雨により甚大な被害を受けました。ダリヤ園整備と置賜公園の道路も工事が始まり、開園までに復旧する。川西夏まつり、黒べこ祭りも久し振りに再開し活気を取り戻します。また令和三年五月に開庁した新庁舎が日本風工学会の二〇二二年度デザイン賞を受賞した」事も披露されました。

議長選出して議題の審議に入り、令和四年度事業報告・会計決算報告、役員改選、令和五年度事業計画・会計予算の全てが承認されました。



役員を降りられる当会に貢献された方々へ森田会長から永年功労者顕

彰を授与され、また原田町長から新役員にふるさと交流大使の委嘱状が交付されました。

第二部の交流懇親会では川西の地酒と料理で暫く懇談した後、カラオケ、お楽しみ抽選会が行われ四年ぶりに大変盛り上がりしました。川西産品販売もあり故郷の味を多くの会員が買い求めておられました。四年ぶりの定期総会は盛会のうちに終わりました。



私、今総会で理事を任命されましたが、本会と川西町の隆盛に微力を尽くしたいと思います。皆さま来年も元氣にお会いできるのを楽しみにしています。

川西町の皆様に感謝

千葉県柏市在住
中村 茂代
(熊本県人吉市)



三年ぶりの総会、楽しゅうございました。当たり前の事が出来ない辛さに出口はあるのだろうか？ 何度もう繰り返して考えておりました。そんな中で思い出したのが、夫茂八の小学生の時の体験です。東京大空襲で焼け出され見知らぬ土地へ連れてこられた父親のいない大家族は、今



回の私達と同じく、今後どうなるのか不安で胸が張り裂けそうな思いでいたことでしょうか。

でもこれは、優しく迎えて頂いた友人達との交流の話です。

夫は川西町へ『無縁故』疎開をしておりましたが、沢山の友人がいつも夫のことを気にかけて下さったそうです。困ったのが冬で、雪が降ると長靴がない為に学校へ行けなくなります。担任の高橋ハルコ先生は、年に数回国から頂ける長靴の前に、クラス全員に「目を閉じて、長靴が欲しい人！」と尋ねたところ、ほぼ全員が手を挙げ、見れば先生が渡したい夫は手を挙げてはおらず、先生はがっかりしながらも互譲の精神を説いた昔話を語り、なるべく我慢する様にと説得していると、後方席の女生徒が「誰に当たっても茂八ちゃん（もはつちゃん）に渡そうと話し合っていた」とのこと。勿論先生の机上の長靴は、夫の足を暖め、寒くて冷たい冬も休まずに学校へ通えたそうです。

また、私が熊本出身で、夫は東京出身の筈ですが、川西町から電話やお手紙、四季折々のグルメが届き、私も新婚の頃より山形に愛を頂きました。

夫は同郷の友人たちに心配頂кинаがら、三年前に天国へ旅立ちました。



久しぶりの総会は、私一人の参加で心細い気持ちでしたが、知り合いの皆様と会えて、とても楽しく過ごせました。

いつも山形は私達家族を温かく迎えてくれます。「アルカディアの里」東京川西会の開催、益々の発展！この当たり前が永遠に続きます様にと祈っております。感謝を込めて、ありがとうございます。



盛大な夏まつり

事務局報告

去る八月十一日、新築の町庁舎の駐車場をメイン会場として、かわにし夏まつりが盛大に開催されました。従前はフレンドリープラザ前を会場としていて、こちらも大変賑わっていたのですが、今回はその比ではありません。庁舎前と奥の広大な駐車場を過去最大の露店やキッチンカーと、過去最大の人出で埋め尽くす勢いで、人口一万四千人弱の半数を超える方が来ているのではないかと思います。この中には圧倒されました。

事前に東京川西会役員の参加者を町に連絡していたところ、招待客として扱っていただき、庁舎前の特等席に専用の席を用意していただきました。

私たちの席から一番近い駐車場奥の一角が舞台に充てられ、次々と演目が披露されたのですが、あまりの人の多さに座ったままでは見ることができません。ここぞという場面では飛び出して行って鑑賞させていただきました。また、商工会の寒河江会長、観光協会の渡部前会長がずっとお付き合いですり、多くの皆さん

も顔を出して下さって、とても楽しく過ごすことができました。

4 時からの舞台では、町長ご挨拶のオープニングに続き、川西中の吹奏楽、犬川小の和太鼓、置農の演劇、また、アフリカ太鼓、ギター弾き語り、フルート二重奏、フラダンス、よさこいソーランが熱演されました。



引き続き各種団体による川西音頭などの盆踊り、西大塚八幡神社の獅子舞、諏訪神社西区の豪華絢爛な商宮律（しゃぎり）の渡御、小松豊年獅子踊りが披露され、いよいよ大花火大会です。



見事なスターマイン、3号玉十連発、4号玉十連発を基本のセットと



しているようで、十五セット位が次々と夜空を焦がし続けました。



東京川西会として花火を打ち上げ、プログラムにメッセージを載せていただきましたが、ほかに10名の川西会の方が打ち上げておられ、皆さんの町を盛り立てようとの思いに心打たれました。

川西町の関係の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

新理事のご紹介



埼玉県加須市在住
渡部 隆夫
(玉庭)

この度の総会で東京川西会の理事として承認され、また、ふるさと交流大使としての委嘱状を頂きました。会の発展のため川西町の良さをア

ピールしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。



千葉県柏市在住
齋藤 敬二
(中郡)

ふるさとを離れて早、半世紀が経ちました。中郡時田の出身、柏市在住、六九歳です。

この度、東京川西会でお手伝いをさせていただくことになりました。微力ですがよろしくお願いいたします。



東京都新宿区在住
斉藤 雄大
(犬川)

改めて、お世話になります。この度新理事を拝命致しました、川西町小松（犬川地区）出身の斉藤雄大と申します。

現在は東京で、地域振興の仕事に携わっております。故郷の持続的発展に寄与できるよう、積極的な情報発信に努めて参ります。

第五十五回研修会のお知らせ

恒例の年末行事である研修会と忘年会を、左記要領で再開の運びとなりました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 日時 十二月二日(土) 午後四時～

◆ 会場 新橋亭(しんきょうてい)

☎ 03-3580-2211

港区新橋二・四・二

JR 新橋駅から外堀通りの南側を虎ノ門方向に徒歩 3 分

◆ 研修会講師 未定

◆ 参加費 無料

◆ 忘年会・研修会終了後

(午後五時十分～)

◆ 会費 六千円

参加の有無は「いも煮会」の返信用ハガキの「研修会・忘年会」の欄にご記入下さい。参加希望者には後日詳細案内をさし上げます。

会長 森田 光雄

連絡先 鈴木 茂

☎ 090(4952)3397

庶務日誌抄

四月 八日 第一回役員会

四月十五日 会報第 92 号発行

五月二一日 第三七回総会

六月一〇日 第二回役員会

七月 八日 正副会長監事会

八月十一日 かわにし夏まつり参加

九月一～二日 ふるさと交流ツアー

並びにかわにし地酒と黒べこまつり参加

編集後記

残暑 お見舞い申し上げます。

年々猛暑の日数や期間が更新され、同じ地域で炎熱の被害が畑に出れば、次は豪雨の被害が起こるなど、まるで地球の底が抜けてしまったかのような異常さです。

そんな中ではありますが、各地の伝統行事が軒並み再開されたことは、各地の元気を取り戻す上で、大きな力となっています。川西の夏まつりにも地酒と黒べこまつりにも参加させていたいただいて、皆様から活力を分けていただきました。

上尾市の私の地元でも、体育祭、敬老会、秋祭りと大きな行事が続くため、その準備に駆け回っているところですが、同じ目標に向かって心ひとつに取り組むことで、つながりが深まり、総合力が引き上げられる

ものだなと実感しているところです。もしもコロナがあと 1～2 年続き、行事の再開ができなかったら、と思うと、背筋が凍る思いがします。

東京電力が福島県の沖合 1 キロから処理水放出を 8 月 24 日に開始して、3 週間が経過しました。トリチウムの濃度は希釈前はリットル当たり 14 万ベクレルですが、これをただの 206 ベクレルまで希釈するという、国が毎日 2 リットル飲み続けても安全とする基準の 50 分の 1 まで下げて放出しています。

しかし世界には、作出した数値を事実と偽って堂々と公表することが当たり前の国があり、そこでは「他国も自国と同じで事実など発表していないに違いない」と固く信じられています。従っていくら事実や科学的根拠を示しても、そうですかとはなりません。風評被害を作り出せば儲かる国もあるのでしょうか、そんなものは歯牙にもかけず、私たちは福島とともに進みたいと思います。

東京川西会 会報 No.九十三号

発行「アルカディアの里」東京川西会

発行責任者 会長 森田 光雄

編集者 事務局長 鈴木 茂

〒362-0064

埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一

TEL・FAX 048-725-3249

携帯 TEL 090-4952-3397

ふる里のおみやげに

塩・小倉
印

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町上小松 1574

電話 0238(42)3044・FAX 0238(42)3144

商品の発送承ります

かわにしのいいものを集めた『かわいい』

かわにし 森のマルシェ



〒999-0122

山形県東置賜郡川西町大字中小松 2534

TEL 0238(42)6664

FAX 0238(42)6665